

社会資本総合整備計画(中間評価)

◎滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)

◎滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)

滋賀県土木交通部
砂防課

計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」

計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」



○一般・重点のちがい

次のいずれかに該当するもの

■土石流

- ・ 保全対象: 公共施設及び市町地域防災計画に位置づけられている避難場所
- ・ 保全対象: 人家50戸以上

■急傾斜地

- ・ 急傾斜地の高さ: 10m以上
(造成等で山を切土した等の人工斜面、森林事業等の他事業
関連箇所を除く)
- ・ 保全対象: 人家10戸以上

重点

さらに、新規採択時に次のいずれかに該当するもの

■共通

- ・ 保全対象50戸以上
- ・ 地域防災計画に記載のある避難所
- ・ 重要交通網や重要ライフライン施設、市町村役場・支所
- ・ 中小河川緊急治水対策プロジェクト【土砂・流木対策】

I : 滋賀県の砂防について

II : 社会資本総合整備計画について

III : 事業の実施結果について

IV : 事業効果事例について

V : 主要事業の選定について

VI : 中間評価まとめ

I : 滋賀県の砂防について

○ 滋賀県の砂防施設について

■ 滋賀県では、明治時代から砂防工事が進められてきた



I : 滋賀県の砂防について

○滋賀県内の土砂災害危険箇所について

■砂防関係事業対象箇所

土石流 1,421箇所

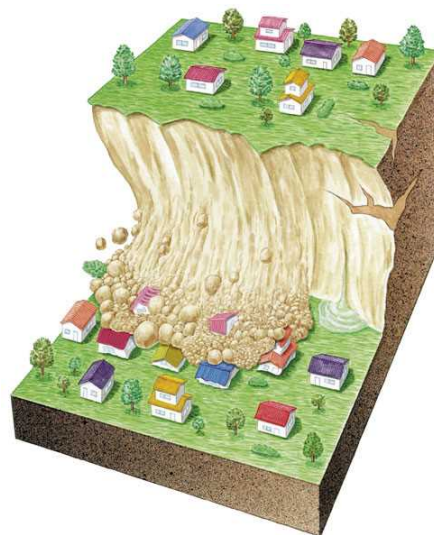
急傾斜地 1,049箇所

地すべり 62箇所

計 2,532箇所



土石流



急傾斜地



地すべり

I : 滋賀県の砂防について

○ 滋賀県内の土砂災害について

■ 豪雨により各地で災害が発生



Ⅱ：社会資本総合整備計画について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」

計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

■ 各計画の当初現況値及び中間・最終目標値

指標①：対象施設が概成した箇所数（箇所）

当初現況値	中間目標値			最終目標値		
R 2	R 4 末 (R 2 比)			R 6 末 (R 2 比)		
全体	一般	重点	全体	一般	重点	全体
554	+ 2	+ 3	559	+ 9	+ 7	570
	556	557		563	561	

指標②：保全される人家戸数（戸）

当初現況値	中間目標値			最終目標値		
R 2	R 4 末 (R 2 比)			R 6 末 (R 2 比)		
全体	一般	重点	全体	一般	重点	全体
11,008	+ 26	+ 84	11,118	+ 190	+ 388	11,586
	11,034	11,092		11,198	11,396	

指標③：保全される避難所数（箇所）

当初現況値	中間目標値			最終目標値		
R 2	R 4 末 (R 2 比)			R 6 末 (R 2 比)		
全体	一般	重点	全体	一般	重点	全体
110	-	+ 1	111	-	+ 4	114
	-	111		-	114	

Ⅱ：社会資本総合整備計画について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」

計画期間 令和2年度～令和6年度(5年間)

計画目標

集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、土砂災害対策を実施することにより、安心安全な県民生活の確保を図る。

成果目標

- ①土砂災害のおそれがある箇所において、対策施設が概成した箇所数を9箇所増加させる。
【指標】土砂災害のおそれがある箇所において、対策施設が概成した箇所数(箇所)
- ②土砂災害対策の実施により保全される人家戸数を190戸増加させる。
【指標】土砂災害対策の実施により保全される人家戸数(戸)

Ⅱ：社会資本総合整備計画について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

計画期間 令和2年度～令和6年度(5年間)

計画目標

集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、避難所、防災拠点等を重点的に施設対策を実施することにより、安心安全な県民生活の確保を図る。

成果目標

- ①土砂災害のおそれがある箇所において、対策施設が概成した箇所数を7箇所増加させる。
【指標】土砂災害のおそれがある箇所において、対策施設が概成した箇所数(箇所)
- ②土砂災害対策の実施により、保全される人家戸数を388戸増加させる。
【指標】土砂災害対策の実施により保全される人家戸数(戸)
- ③土砂災害対策の実施により、保全される避難所を4箇所増加させる。
【指標】土砂災害対策の実施により保全される避難所数(箇所)

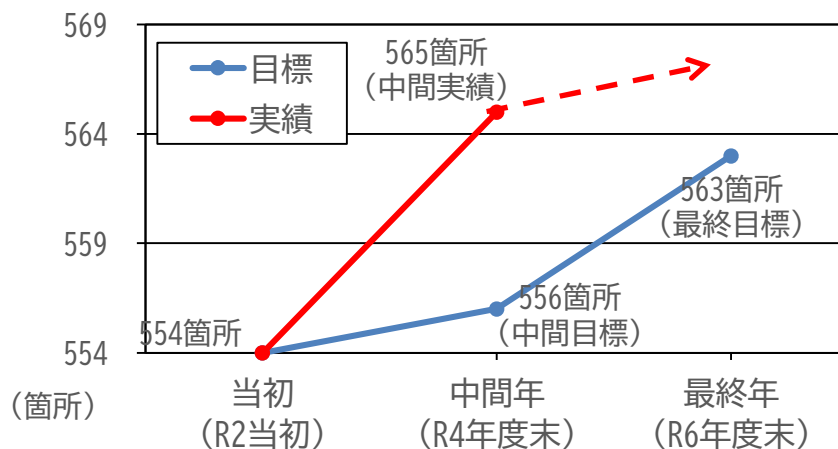
Ⅲ：事業の実施結果について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」

指標①：対象施設が概成した箇所数(箇所)

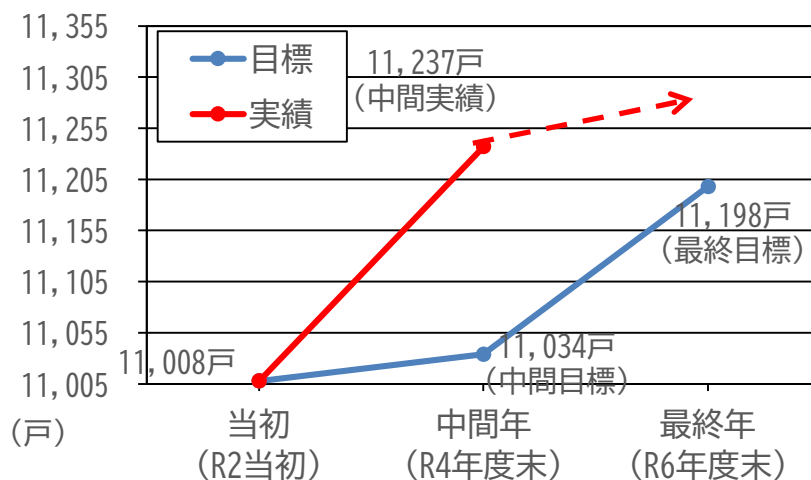
中間目標値
○



- R4末で565箇所の施設が概成。
- 引き続き、整備進捗を図っていく。

指標②：保全される人家戸数(戸)

中間目標値
○

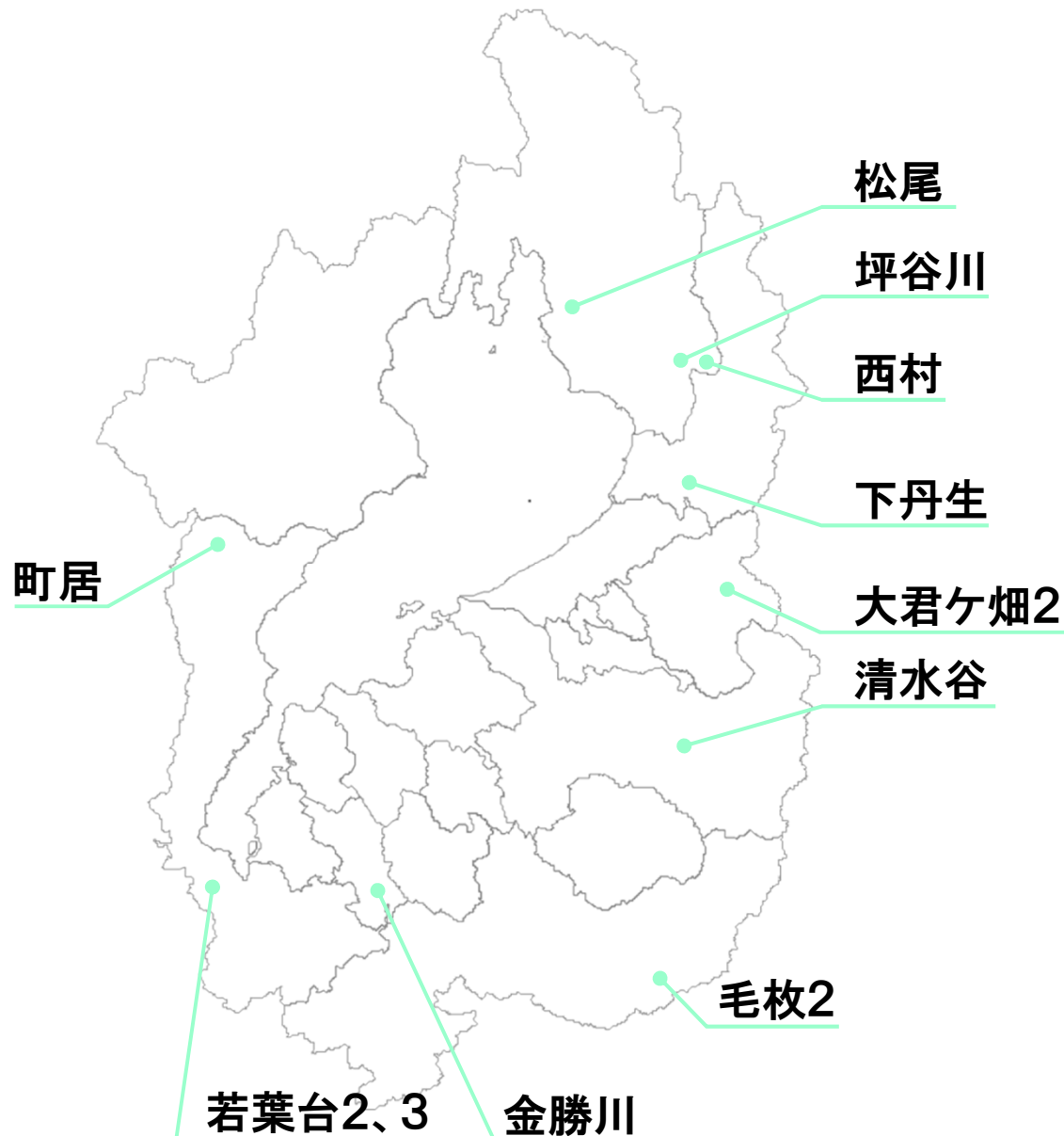


- R4末で保全される人家の戸数が11,237戸。
- 引き続き、整備進捗を図っていく。

Ⅲ：事業の実施結果について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」



一般	指標①	指標②
分類	対象施設が概成した箇所	保全される人家戸数
	[箇所]	[戸]
砂防	清水谷	22
	金勝川	12
	坪谷川	32
急傾斜	町居	19
	若葉台 2	33
	若葉台 3	33
	西村	19
	下丹生	13
	大君ヶ畑 2	14
	毛枚 2	14
	松尾	18
計	11	229

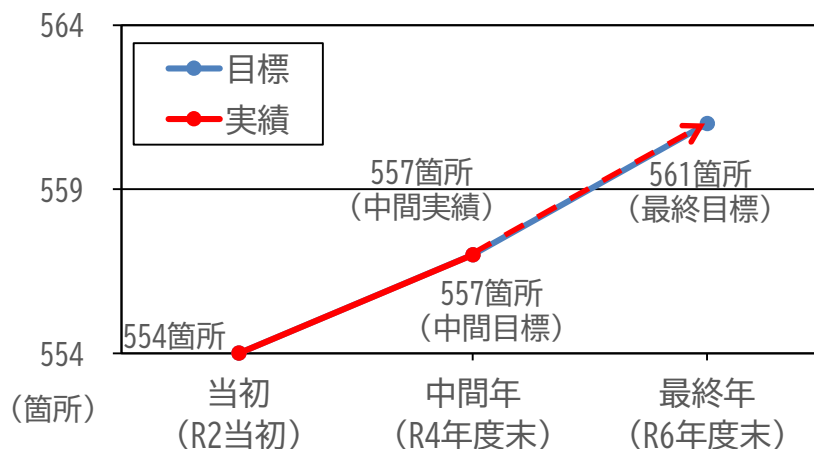
Ⅲ：事業の実施結果について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

指標①：対象施設が概成した箇所数(箇所)

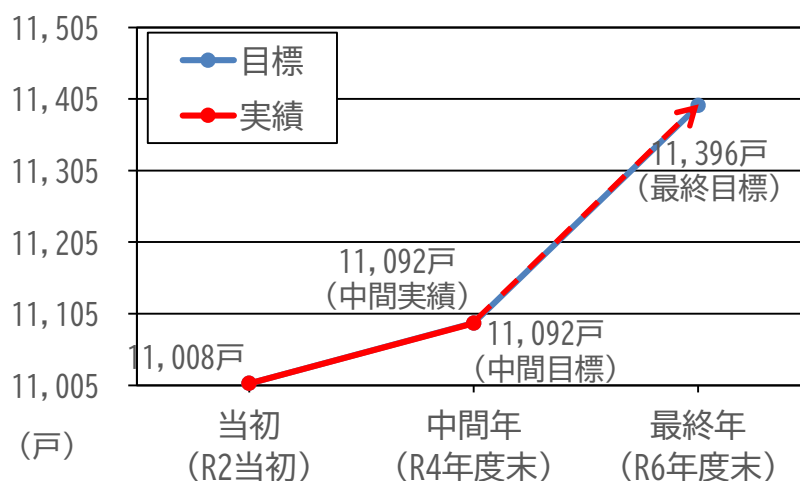
中間目標値
○



- R4末で557箇所の施設で概成。
- R6末の目標達成に向けて、今後も進捗を図っていく。

指標②：保全される人家戸数(戸)

中間目標値
○



- R4末で保全される人家の戸数が11,092戸。
- R6末の目標達成に向けて、今後も進捗を図っていく。

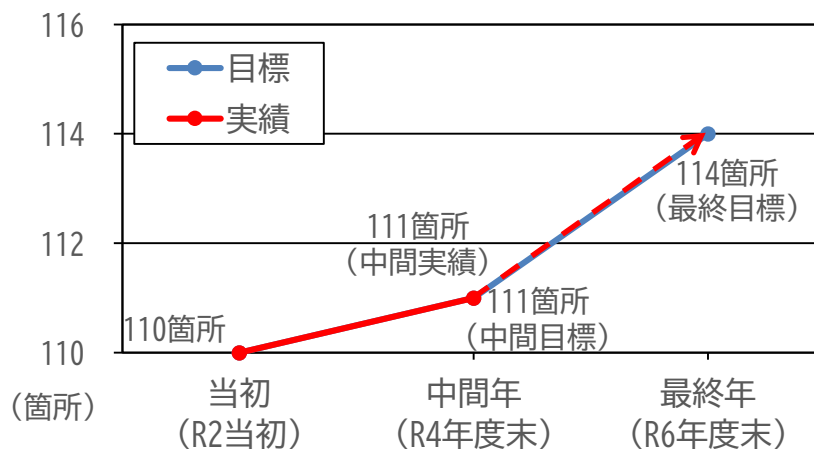
Ⅲ：事業の実施結果について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

指標③：保全される避難所数(箇所)

中間目標値
○

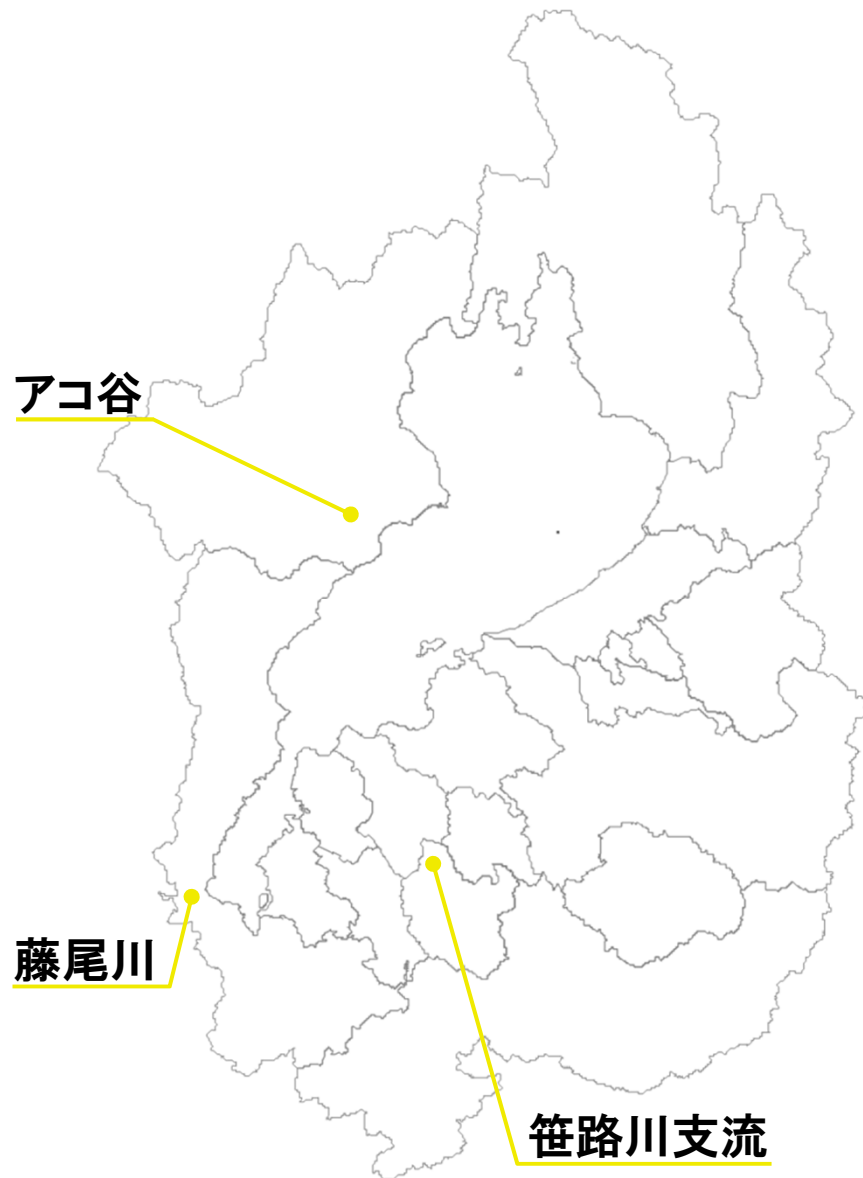


- R4末で保全される避難所の箇所数が111箇所。
- R6末の目標達成に向けて、今後も進捗を図っていく。

Ⅲ：事業の実施結果について



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

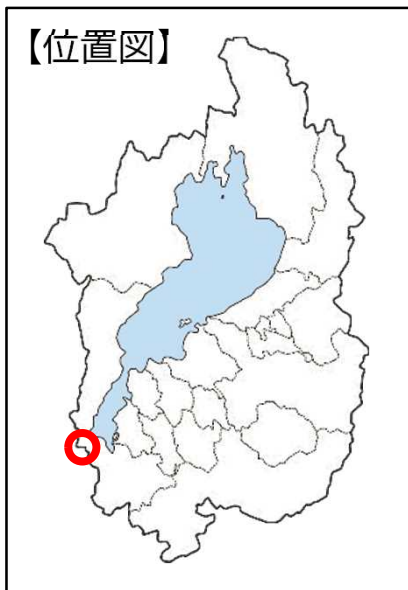


重点	指標①	指標②	指標③
分類	対象施設が概成した箇所	保全される人家戸数	保全される避難所数
	[箇所]	[戸]	[箇所]
砂防	藤尾川	27	0
	笹路川支流	34	0
	アコ谷	23	1
計	3	84	1

IV:事業効果事例について <砂防施設>

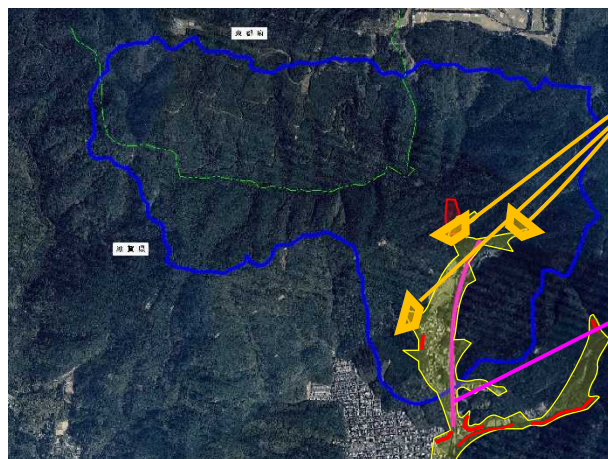
計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

【位置図】



藤尾川 補助通常砂防事業

- 事業箇所: 大津市藤尾奥町
- 工期: H21~R3
- 計画概要: 砂防堰堤工3基
- 全体事業費: 700百万円
- 保全対象: 人家27戸、市道0.96km、耕地1.1ha、橋梁6基、神社2箇所



- : 土砂災害警戒区域
- : 土砂災害特別警戒区域

■整備前



■整備後



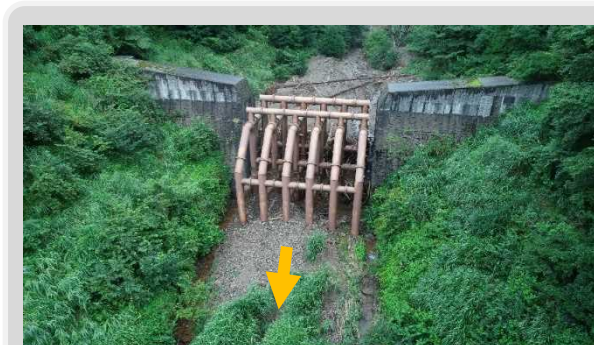
IV:事業効果事例について <砂防施設>

【位置図】



令和4年8月1日から6日の前線による豪雨に伴い、
長浜市余呉町中河内地先の後谷川において、土石流が発生したが、
砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉。
下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮した。

災害発生日：令和4年8月5日
降雨状況：連続雨量305mm（8月4日11時～5日13時）
時間最大雨量69mm（8月5日6時～7時）
※中河内雨量観測所

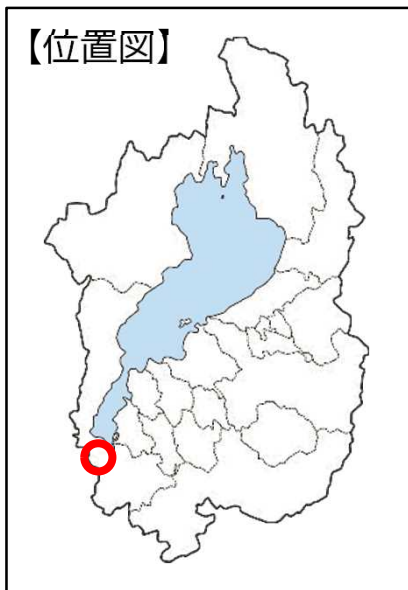


IV:事業効果事例について <急傾斜地対策施設>



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」

【位置図】



若葉台3地区 急傾斜地崩壊対策事業

- 事業箇所:大津市若葉台
- 工期:H25~R4
- 計画概要:崩壊土砂防止柵工 157m
- 保全対象:人家33戸、市道0.274km
- 全体事業費:235百万円



- :土砂災害警戒区域
- :土砂災害特別警戒区域

■整備前



■整備後



IV:事業効果事例について <急傾斜地対策施設>

位置図



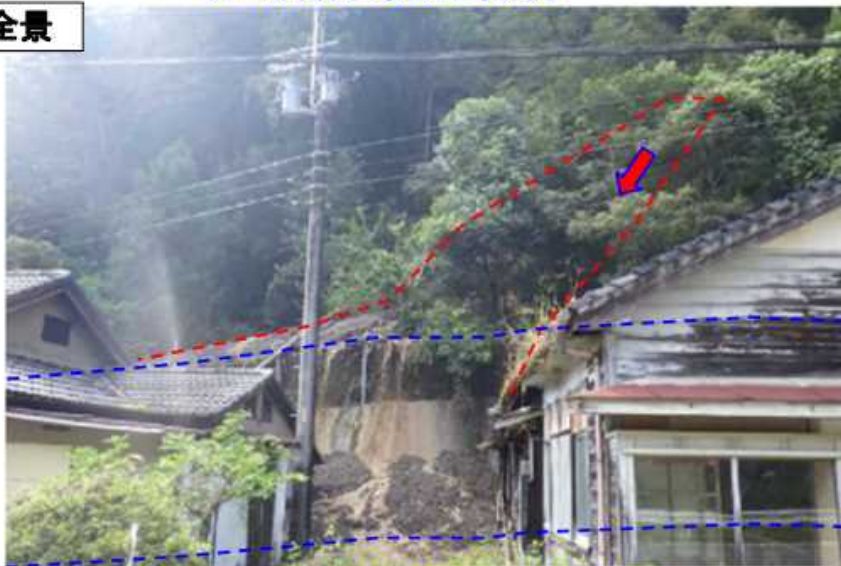
○令和4年9月23日の台風第15号により倒木及びがけ崩れが発生したが、静岡県による急傾斜地崩壊防止施設が整備されており倒木及び崩壊土砂を捕捉。周辺人家等への被害を未然に防止した。

発生日 : 令和4年9月23日
降雨状況 : 連続雨量 448mm (9月23日13時 ~ 24日 1時)
時間最大雨量 88mm (9月23日21時 ~ 22時)
発生箇所 : 静岡県静岡市葵区 しずおかしあおいく 桂山片瀬地区 かやまかたせ
捕捉量 : 倒木及び土砂 約200m³

倒木及び
崩壊土砂を
捕捉!!!

がけ崩れ発生状況

全景



急傾斜地崩壊防止施設 (落石防護柵及び擁壁)

土砂等捕捉状況



※周辺人家 (写真左側) に被害無し
引用:国土交通省資料

V: 主要な事業の選定について



- 「滋賀県公共事業等計画評価実施要綱」第3条の2により、知事は主要な事業に関する次の事項について事後評価を行うよう定められている

- (ア)事業を巡る社会経済情勢等の変化
- (イ)事後採択時の費用対効果分析の要因の変化
- (ウ)コスト縮減および代替案立案等の可能性
- (エ)その他必要と考えられる事項

- 選定の要件については、要綱第3条の3および4により、以下のように定められている

- ①計画最終年度(R6)において事業採択後5年以上を経過した時点で未着工の事業
- ②計画最終年度(R6)において事業採択後10年以上経過し継続中の事業
 - ※「事業採択」とは国庫補助事業については「国の事業採択通知を受け事業費が予算化された時点」
 - ※「未着工の事業」とは「用地買収手続と工事のいずれにも着手していない事業」



計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)」

要件① : なし
要件② : なし

計画名：「滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)」

要件① : なし
要件② : 1事業(砂防事業)が候補

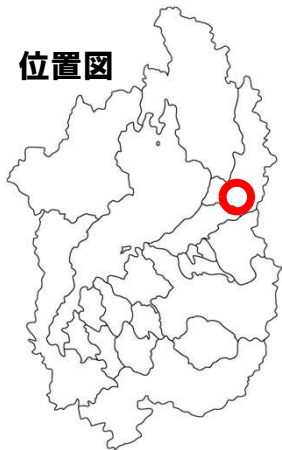


<案> ^{にゅう}丹生川 補助通常砂防事業 を選定

V: 主要な事業の選定について

計画名：「**滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)**」

位置図



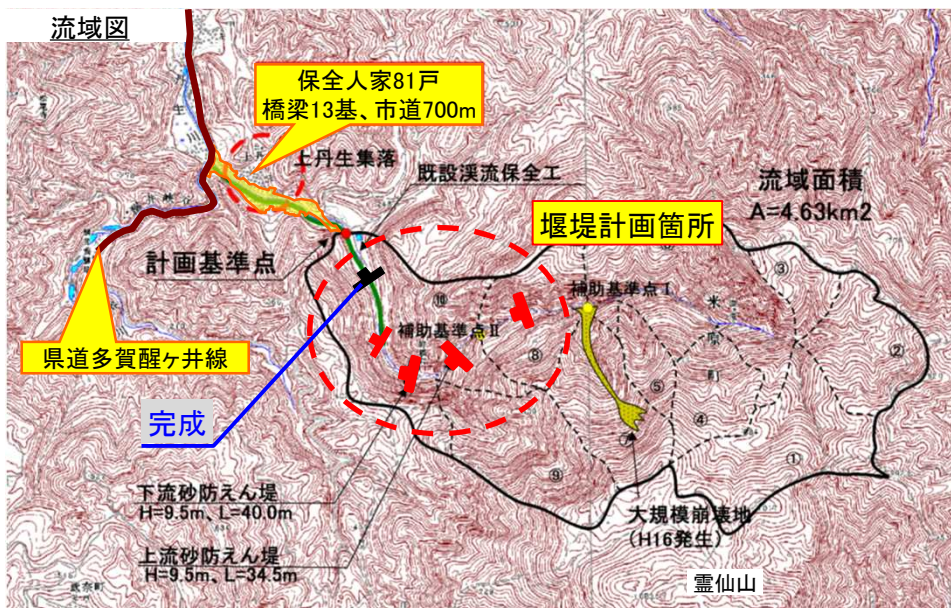
- 事業名: 丹生川 ^{にゅう} 補助通常砂防事業 ■ 事業箇所: 米原市上丹生 ^{かみにゅう}
- 事業着手: H24 ■ 計画概要: 砂防堰堤5基
- 保全対象: 人家81戸、県道100m、市道700m

平成16年に発生した上流域の山腹崩壊による土石流は、既設堰堤などにより捕捉され、下流保全対象には流出せず甚大な被害は発生しなかったが、流域内の溪床にはこれら不安定な土砂が多量に堆積し、大雨が降るたびに下流既設溪流保全工に流出している。また、平成22年7月の豪雨で崩壊箇所の拡大が見られ、ますます危険性が高まっているため、一旦土石流が発生すると甚大な被害が予想されることから砂防堰堤を整備し土砂災害を防止する。

■ 災害発生時の状況



■ 崩壊状況



■ 保全家屋



VI: 中間評価まとめ



① 事業の進捗状況

⇒ 令和4年度末時点における各計画で概成した箇所数

計画名	箇所数	増加量	
滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)	565	+ 11	合わせて + 14
滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)	557	+ 3	

② 事業効果の発現状況

⇒ 藤尾川補助通常砂防事業、若葉台3地区急傾斜地崩壊対策事業などの概成により、土石流や崩壊土砂から人家や市道などを保全することができた。

③ 評価指標の目標値の実現状況

⇒ 中間評価時点において、各計画の目標を達成している。

計画名	概成箇所数			保全人家戸数			保全避難所数		
	目標値	中間実績	傾向	目標値	中間実績	傾向	目標値	中間実績	傾向
滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)	556	565	↑	11,034	11,237	↑			
滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)	557	557	→	11,092	11,092	→	111	111	→

④ 主要な事業の選定

⇒ 下記の箇所を選定した。

計画名	箇所
滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)	該当なし
滋賀県における土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点)	丹生川 補助通常砂防事業